

2024年度  
10~12月

@IT 運用管理セミナー 2024 秋

今こそ見直したい

# 運用管理者の現状と未来

～積年の課題解決に新技術をどう使うか。ユーザー視点の運用管理へ～

開催日時：2024年12月9日(月)～12月10日(火)

申込締切：2024年10月4日(金)



## 開催概要

名称	@IT 運用管理セミナー 2024 秋 今こそ見直したい運用管理者の現状と未来 ～積年の課題解決に新技術をどう使うか。 ユーザー視点の運用管理へ～
主催・企画	
運営	アイティメディア株式会社
開催日時	2024年12月9日(月) ～12月10日(火)
申込締切	2024年10月4日(金)
イベント形式	集合型オンラインセミナー

事前申込者数	約500名想定 ※過去開催の実績値に基づく想定値のため、実際には開催するテーマ数などに応じて前後する場合がございます
想定視聴者属性	ユーザー企業で運用管理業務に従事している方、経営者/経営企画、社内情報システムの企画担当者、運用・方針策定をする立場の方、Sler など
開催テーマ	<ul style="list-style-type: none"><li>技術革新による運用改善</li><li>エンドユーザー視点の運用管理</li></ul>
運営	アイティメディア株式会社

## 過去実績



LIVE @IT 運用管理セミナー  
2024 春 特別編集版

足下の課題をどう解決するか。これからをどう勝ち抜くか。  
デジタル化時代、「運用管理と運用者の価値」を再定義する

開催日 2024 5/20 mon - 21 tue 視聴無料

イベント名	@IT 運用管理セミナー 2024春 特別編集版 足下の課題をどう解決するか。これからをどう勝ち抜くか。 デジタル化時代、「運用管理と運用者の価値」を再定義する
日程	2024年5月20日(月) ～ 5月21日(火)
登録者数	557名
来場者数	440名

本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

## ——積年の課題解決に新技術をどう使うか。ユーザー視点の運用管理へ

生成AIなど技術革新が目覚ましい昨今、多くの企業、組織において、新技術を用いた課題解決や効率化に期待が高まっている。IT運用管理においても「効率化、自動化」「属人化、人材不足」といった積年の課題を、新技術の活用によって解決できるのではないか——無論、銀の弾丸はない以上、「新技術を使いさえすれば」といった過度な期待は極めて危険だが、より良い手段を探す、適用法を考える視点は変革に欠かせない。

加えて、運用管理者の役割には変化が迫られつつある。コスト削減や効率性、安定性を追求するだけでは不十分となり、ビジネス全体への貢献が求められている。AIなど、新しい技術を使って運用プロセスの自動化や効率化を図るだけでなく、システム基盤の可視化やSREの実践によって、より戦略的な視点でシステム全体を最適化することが重要になってきている。目指すべき未来はエンドユーザーの満足度を高める観点に立脚した運用管理だ。

では目指すべき運用管理へと変革を進める上では、「何に注視」すべきなのか、「何が使える」のか。

本セミナーでは下記2つのテーマから、**変革実現のポイント**を解説する。

1

技術革新による  
運用改善

「積年の課題解決」にAI／自動化はどう使えるのか、どこまで使えるのか

2

エンドユーザー観点  
の運用管理

可視化から始める、本当に目指すべき運用管理

概要

「積年の課題解決」にAI／自動化はどう使えるのか、どこまで使えるのか

長年、運用管理の現場ではさまざまな課題に直面してきた。運用コストの増大、人手不足・属人化など、改善が望まれながらも容易に解決できない問題が今でも山積している。しかし、近年は技術の進化によって、業務プロセスの自動化や効率化、障害予兆の早期発見と自動対応、セキュリティリスクの事前検知などにより、属人化・人手不足の解消が期待できるようになってきた。とはいえ、まだまだ運用の自動化、効率化を実践できている組織は少ない。運用管理におけるAIなど新しい技術の活用は、今後の明暗を分けるのか、運用現場の救世主となるのか。積年の課題を解決するための技術活用の在り方を検討する。

キーワード

# AIOps

# 運用自動化／効率化

# ログ管理

# バックアップ

# DR（災害復旧）

# BCP（事業継続性）

# データ保護

# サーバ管理

# ストレージ管理

# データベース管理／チューニング

# ネットワーク

# 運用コスト／負荷軽減

# サイジング

# ハードウェアの更改

# 第三者保守

# クラウドマネージドサービス

# ライセンス管理／コスト管理

登壇講師候補

※今回の登壇をお約束するものではありません。

視聴者の抱える課題

- ITサービスの運用監視、障害対応におけるコスト／負荷の削減、運用自動化、効率化を考えている
- ITサービスの安定稼働と属人化の解消、運用プロセス改善の板挟みで悩んでいる

概要

可視化から始める、本当に目指すべき運用管理

ITインフラが複雑化し、さまざまなシステムが密接に連携する中、運用管理の現場では日々多くの課題に直面している。特にビジネスとITが直結している今、インフラが動いていてもビジネスが遅滞しているようでは意味がない。ビジネス、経営を支えるためには、システムの稼働状況だけではなく、ユーザー体験の最適化にも着目する必要がある。一方でコスト効率の観点も極めて重要だ。ではこれらをどう両立するのか。システムの可視化をはじめ、「経営貢献できる運用管理」を実践するために必要な視点、ノウハウ、必要な手段まで、事例を基に解説する。

キーワード

#プラットフォームエンジニアリング

#SRE

#ITSM

#オブザーバビリティ

#構成管理

#IaC

#ハイブリッド環境管理

#DevOps

#運用自動化/効率化

#ITIL

#ログ管理

登壇講師候補

※今回の登壇をお約束するものではありません。

視聴者の抱える課題

- SRE、プラットフォームエンジニアリングの提供者側に必要な考え方、改善手法を求めている
- ITサービスを活用した経営への貢献方法とそのプロセスのヒントを求めている

# タイムテーブル

時間	枠時間	12月9日(月)	時間	枠時間	12月10日(火)
13:00-13:40	40分	基調講演1 (技術革新による運用改善)	13:00-13:40	40分	基調講演2 (エンドユーザー観点の運用管理)
13:50-14:20	30分	スポンサーセッション1-1	13:50-14:20	30分	スポンサーセッション2-1
14:30-15:00	30分	スポンサーセッション1-2	14:30-15:00	30分	スポンサーセッション2-2
15:10-15:40	30分	スポンサーセッション1-3	15:10-15:40	30分	スポンサーセッション2-3
15:50-16:20	30分	スポンサーセッション1-4	15:50-16:20	30分	スポンサーセッション2-4
16:30-17:00	30分	スポンサーセッション1-5	16:30-17:00	30分	スポンサーセッション2-5

※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

## ご協賛メニュー

	プラチナプラン	ゴールドプラン	全リストプラン	セクション リストプラン
スポンサーセッション Live配信+アーカイブ	●	●	-	-
全申込者リスト (500名想定)	●	-	●	-
協賛セクション申込者リスト (300名想定)	●	● (上限400名)	-	● (上限400名)
スポンサーアンケート	●	●	-	-
自セッション視聴者データ・ レポートサイト	●	●	-	-
事前アンケート結果	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●
資料配布	●	●	-	-
開催報告書	●	●	●	●
料金 (税別・グロス価格)	¥3,300,000-	¥2,500,000-	¥1,900,000-	¥1,600,000-

【備考】 ※申込者数は想定値となります。

※セミナー全体のセッションスポンサー数が3社未満の場合、開催日、開催テーマの縮小をいたします。

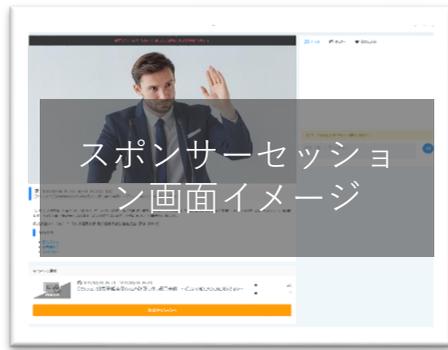
その場合、イベント規模縮小に伴い全申込者数が減少する場合がございます。

※各セクションのセッションスポンサー数が3社未満の場合、セクション申込者数が減少する場合がございます。

# ご協賛メニュー詳細

## | スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできる  
スポンサーセッション枠を  
ご利用可能



## | 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者の名刺情報のリストをご提供
- ご提供情報：  
名前・会社名・部署・役職・  
住所・電話番号・  
メールアドレス・業種・  
職種・役職クラス・年商規模・  
従業員規模・関与など
- イベント終了後3~5営業日以内に  
Excelデータ形式にて納品

## | セクション申込者リスト

- 協賛セクション申込者の  
名刺情報のリストをご提供
- ご提供情報：  
名前・会社名・部署・役職・  
住所・電話番号・  
メールアドレス・業種・  
職種・役職クラス・年商規模・  
従業員規模・関与など

※事前申込時に該当セクションを視  
聴希望としてチェックしている人(任  
意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)  
のリストが納品対象です。

## | セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内  
に独自のアンケートを実施
- 単一回答・複数回答・自由回  
答の3種類を組み合わせて自由  
に設定可能
- アンケートボタンを押すと、  
ポップアップで表示

## | 視聴者データ・レポートサイト

- セッションのレポートサイト  
をご提供
- ご提供情報：  
会社名・部署名・役職・電話番  
号・メールアドレス  
などの名刺情報

※DL可能

## | 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など  
(BANT情報) 等も合わせてご提供

※アイティメディア側で設定のため個別設  
定不可

## | スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲  
載、貴社サイトへのリンクを設定可能

## | 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料  
の配布が可能
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロード  
リンクとするほか、貴社の指定外部リン  
クを設定することも可能

## | 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアン  
ケートを実施 集計結果を開催報告書と  
して会期終了後にご提供
- 個人情報は含まない集計データでの  
ご提供

※画像はイメージです。

# オプションメニュー1

## | 貴社セッションmp4動画納品

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

## | セッション収録サポート

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます

料金 **¥180,000~**

## | リード情報×主催アンケート回答情報付与

- 視聴者の課題感などを収集している主催者アンケートの回答情報を、納品リードに付与して納品
  - セミナー閉幕日の3-5営業日後に納品するリード情報に、アンケート回答情報を付与したうえで納品いたします。
  - リードフォロー時の参考情報としてお役立てください。
- 詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000~**

## | 納品リストへのABMデータ追加

- アイティメディアのコンテンツ閲覧状況を分析し、各企業の導入検討状況を推測できるABMデータを納品リストに追加するサービス。
- ABMデータによって企業の意図を可視化し、効率的な案件発掘が可能。
- データ集計作業のため、通常より1営業日遅れての納品。

詳細：[go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn](https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-10-19/2bvm1jn)

料金 **¥200,000**

## | リード カスタム納品

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

リード件数によって金額は変動

料金 500件~ **¥100,000~**

## | ブランディング施策

- イベント告知サイトに貴社情報を追加で掲載し、ブランディング施策として活用可能。
- 通常より大きく会社ロゴの表示
- ショート動画の埋め込み
- フローティングバナー情報掲載

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

料金 **¥500,000**

## | アフターフォローセミナー

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

¥2,450,000

料金 **¥2,300,000**

## | テレマーケティング

- イベント終了後、獲得したリードに対して所定の件数分コールを実施。
- 効果的に実施することで高い反響率と顧客獲得効果が望める。
- 最低実施件数 50件~
- 期間 3~4週間 (250件の場合)
- 1000件以上は不可

料金 **¥75,000~**

※オプションのみでのお申込みはできません (すべて税別・グロス価格)

# オプションメニュー2

## セッション動画活用リード獲得

- 講演動画や資料をTechTargetジャパン/キーマンズネットに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性&件数を保証したリード獲得】が可能。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-09-02/2bfy1tr>

料金 **¥300,000~**

## タイアッププッシュ ターゲティング & ABM

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。
- 狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

料金 **¥1,300,000~**

## DXメディア横断PV保証タイアップ

- 貴社のセッションを基にタイアップ記事を制作
- DX関心層が多くメディア横断でタイアップ記事へ誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsty>

10,000PV保証 ¥1,900,000  
料金 **¥1,700,000**

## セッションパンフレット作成 (IT・ビジネス関連)

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ (PDF/x) を納品
- 取材内容はタイアップ記事広告としてメディアにも掲載
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvn>

料金 **¥1,200,000**

※オプションのみでのお申込みはできません (すべて税別・グロス価格)

# お申込みからの流れ

## 申込締切

2024年10月4日(金)

ご出展意思を担当営業にお伝えください。  
後日弊社より発注書が送付されますので  
**DocuSignにご署名**のうえご返送ください。

## 告知準備

セッションの講演者情報、講演タイトル、貴社ロゴデータ等と合わせてご提出いただく、  
**セッション登録用紙**を事務局へご提出ください。

## 告知開始

2024年11月上旬

事務局にてイベント告知サイトをオープンいたします。  
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。  
登録・視聴促進の為、インセンティブを使用する場合がございます。

## 開催準備

2024年11月下旬頃

配布資料・視聴者向けセッションアンケート  
設問・動画納品など**講演に関する情報**を事務局  
にご提出ください。

※開催2週間前程度  
開催2営業日前までにレポートサイト情報も  
お送り致します。

## 開催

2024年12月9日(月)～12月10日(火)

ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までにアイティメディアのスタジオ受付にお越しください。

## レポート

会期終了3～5営業日以内に**事前申込者リスト**  
をご提出致します。終了後1～2週間程度、  
セッションのアーカイブ配信を行います。  
※予定

開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出致します。

上記スケジュールは目安であり、状況によって変更になる場合がございます

# 過去実績

**LIVE @IT 運用管理セミナー**  
**2024春 特別編集版**

足下の課題をどう解決するか。これからをどう勝ち抜くか。  
デジタル化時代、「運用管理と運用者の価値」を再定義する

開催日 2024 5/20 mon - 21 tue **視聴無料**

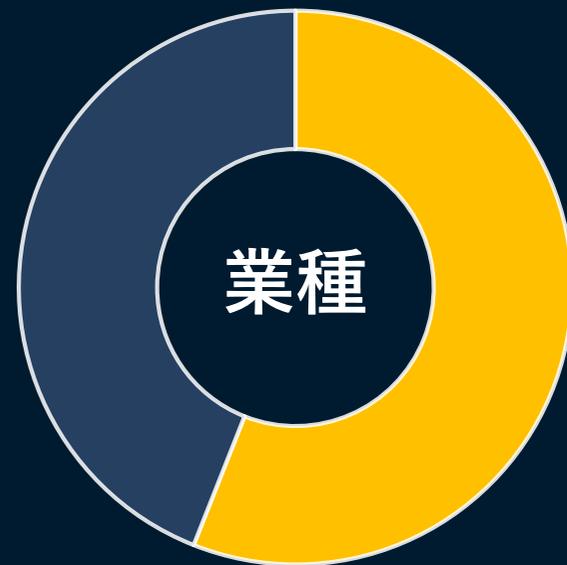
タイトル	@IT 運用管理セミナー 2024春 特別編集版 足下の課題をどう解決するか。これからをどう勝ち抜くか。 デジタル化時代、「運用管理と運用者の価値」を再定義する
日時	2024年5月20日（月）～5月21日（火）
対象	ユーザー企業で運用管理業務に従事している方、経営者、経営 企画の方、社内情報システムの企画担当者 運用・方針策定をする立場の方、SIer など
主催	@IT編集部
全申込者数	557人
視聴者数	440人
協賛 (※50音順)	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 エムオーテックス株式会社 Elasticsearch株式会社 株式会社シーエーシー ジョーシス株式会社 S k y 株式会社 ゾーホージャパン株式会社 デル・テクノロジーズ株式会社 レッドハット株式会社

## “ビジネスを変革する” ITエキスパートのための技術専門メディア

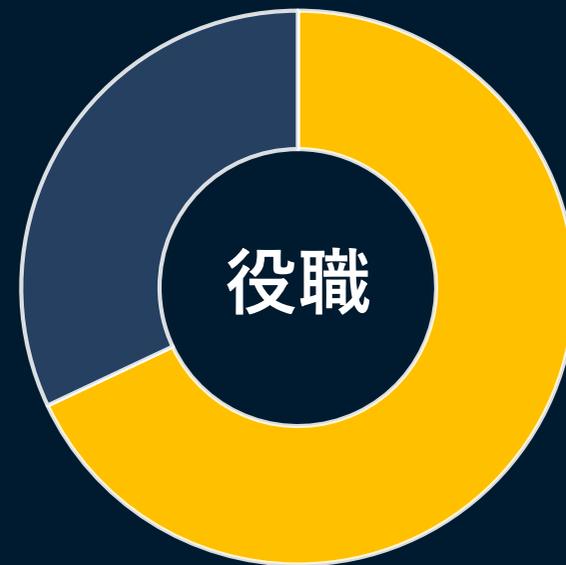


- 媒体名
- URL
- PV
- メルマガ配信数

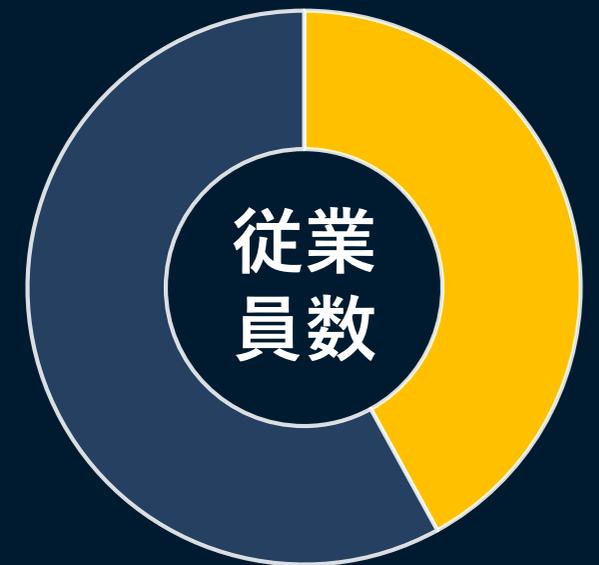
@IT  
<https://atmarkit.itmedia.co.jp/>  
 約770万 PV/月 約390万 UB/月 ※2024年1月実績  
 約54万通



ユーザー企業 約**56%**  
 主な内訳：IT関連35.5%、製造業29%



係長クラス以上 約**60%**  
 主な内訳：係長クラス21.2%、部長クラス20.6%



1000人以上 約**41%**  
 主な内訳：1000人～5000人未満18.4%、5000人以上24%

# ご留意事項

## | キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書の取り交わし後のキャンセル  
登録用紙の提出後のキャンセル  
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル : 50%

開催日40日以内のキャンセル : 100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

## | 消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

## | 配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

## | オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

### リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。  
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

### リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。  
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

### リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。  
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

### リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。  
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

### リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。  
10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

メールでのお問い合わせ

mail : [sales@ml.itmedia.co.jp](mailto:sales@ml.itmedia.co.jp)

アイティメディア株式会社 営業本部

デジタルイベントの最新情報はこちら  
<https://promotion.itmedia.co.jp/plan>